【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2002-542262(P2002-542262A)
【公表日】平成14年12月10日(2002.12.10)
【出願番号】特願2000-612424(P2000-612424)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　11/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　 1/20　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　 1/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　11/02　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　 1/20　Ａ
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ａ
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　31/10
Ｃ１２Ｎ　 1/20　Ａ
Ｃ１２Ｒ　 1:38
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ａ
Ｃ１２Ｒ　 1:38

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月13日(2007.4.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１以上のシュードマイシンの生産方法であって、該方法は、
（１）シュードモナスシリンゲの株ＭＳＵ１６Ｈ、株ＭＳＵ１７４、ＭＳＵ２０６、株２５－Ｂ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２２）、株６７Ｈ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２１）、株７Ｈ９－１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２３）、または１０μｇ／ｍＬ以上の量の１以上のシュードマイシンを産生するその変異体の生物学的に純粋な培養液を、グルコース、KH_2PO_4，ツァーペク（Czapek）ミネラル塩溶液、ＭＥＳ緩衝剤、硫酸アンモニウムおよびアミノ酸を含む栄養培地において培養し、
該アミノ酸はグルタミン酸またはグルタミン酸、グリシン、ヒスチジンの組み合わせからなり、
該アミノ酸はグルタミン酸、グリシン、ヒスチジンの組み合わせからなり、可溶性デンプンが場合により存在し、
該培地は４～６．５のｐＨを有し、
該培養は１５～３５℃の温度で、５％飽和～５０％飽和の酸素レベルで、１以上のシュードマイシンが少なくとも約１０μｇ/ｍＬの濃度で生産されるまで行い、
（２）その後、該１以上のシュードマイシンを該培養液から回収する、
ことを含む方法。

【請求項２】
１以上のシュードマイシンの生産方法であって、該方法は、
（１）シュードモナスシリンゲの株ＭＳＵ１６Ｈ、株ＭＳＵ１７４、ＭＳＵ２０６、株２５－Ｂ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２２）、株６７Ｈ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２１）、株７Ｈ９－１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２３）、または１０μｇ／ｍＬ以上の量の１以上のシュードマイシンを産生するその変異体の生物学的に純粋な培養液を、２０ｇ／Ｌのグルコース、０．４１ｇ／ＬのＫＨ$_2$ＰＯ$_4$，２ｍＬのツァーペク（Czapek）ミネラル塩溶液、９．８ｇ／ＬのＭＥＳ緩衝剤、１ｇ／Ｌの硫酸アンモニウムおよびアミノ酸を含む栄養培地において培養し、
該アミノ酸は２ｇ／Ｌのグルタミン酸、または２ｇ／Ｌのグルタミン酸、０．５ｇ／ｍＬのグリシン、および２ｇ／Ｌのヒスチジンの組み合わせからなり、
該アミノ酸はグルタミン酸、グリシン、ヒスチジンの組み合わせからなり、可溶性デンプンが５ｇ／Ｌで場合により存在し、
該培地が５．２のｐＨを有し、
該培養は１５～３５℃の温度で、５％飽和～５０％飽和の酸素レベルで、１以上のシュードマイシンが少なくとも約１０μｇ/ｍＬまで行い、
（２）その後、該１以上のシュードマイシンを該培養液から回収する、
ことを含む方法。
【請求項３】
シュードモナスシリンゲの株２５－Ｂ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２２）、株６７Ｈ１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２１）、株７Ｈ９－１（ＡＴＣＣ　ＰＴＡ－１６２３）、または１０μｇ／ｍＬ以上の量の１以上のシュードマイシンを産生するその変異体の生物学的に純粋な培養物。